

平成30年8月 岡山市教育委員会定例会 会議録

1 開催日	平成30年8月21日 (火)		
2 開会及び閉会	開会	13時00分	
	閉会	13時30分	
3 出席委員	教育長	菅野和良	
	委員	塩田澄子	
	委員	藤原佳代子	
	委員	妹尾直人	
4 会議出席者			
職名	氏名	職名	氏名
教育次長	安田充年	教育次長	三宅泰司
次長(教育総務部長兼務)	吉實達男	学校教育部長	岡林敏隆
生涯学習部長	重松浩二郎	参事 (教育企画総務課長事務取扱)	村田守
参事 (生涯学習課長事務取扱)	石井敏郎	参事 (文化財課長事務取扱)	乗岡実
教育企画総務課企画調整担当課長	高坂仁美	学校施設課長	板野正博
教職員課長	奥橋健介	就学課長	東谷徹
指導課教育支援担当課長	服部道明	指導課人権教育担当課長	半澤秀行
保健体育課長	山田裕史	中央図書館長	宮本嘉彦
オリエント美術館長	八田健郎	岡山っ子育成局保育・幼児教育部 幼保運営課幼児教育専門監	山内徳子
教育企画総務課課長補佐	澤谷好太郎	教育研究研修センター所長補佐	有友雅人
岡山っ子育成局子育て支援部 地域子育て支援課長補佐	黒瀬格		
事務局 (教育企画総務課課長補佐)	生田裕宣	事務局 (教育企画総務課副主査)	三宅敦子
5 議題及び結果			
第22号議案 平成29年度岡山市教育委員会の事務に関する点検・評価報告書について 可決			

6 教育長等の報告 [平成30年7月14日(土)～平成30年8月10日(金)]

7/22	岡山市子ども会親善球技大会	地域子育て支援課
7/28～30	わくわく犬島探検隊(事業中止)	地域子育て支援課
8/ 5	岡山市子ども会親善球技大会	地域子育て支援課
8/ 7	おかやまっこ未来フェスタ2018	指導課
8/ 8	就学・教育相談会	指導課
8/ 8	市学童水泳記録会	保健体育課
8/ 9	就学・教育相談	指導課

藤原委員 指導課人権教育担当課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 4番のおかやまっこ未来フェスタ、これはことし2年目だが、昨年とは少し違う取組があったら、教えていただければと思う。</li> <li>○ ちょうど今年度で2年目の取組になる。昨年と変わっているところは、ステージイベントで中学生の部活動紹介を充実させた。主に灘崎中学校の箏曲、いわゆるお琴の部活や、芳泉中学校のダンス部、京山中学校のバスケットボール部を皆さんに来ていただき、実際の活動の一端を紹介をするということを行った。</li> </ul>
藤原委員 指導課人権教育担当課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ありがとうございます。それから、体験コーナーというか、授業的なことではどういう取組をされたか。</li> <li>○ 学習コーナーとして、一応5時間目までというような感じの学校の授業のような形式でしていただいた。プログラミング学習とか理科の実験コーナー、それから美術、ステンシル、それから英語活動、それからハンドメイドで小物をつくるというような活動をさせていただいた。</li> </ul>
藤原委員 指導課人権教育担当課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 何人ぐらい、延べはここに書いてあるが、講座によっては来る子どもたちの数は違うのか。</li> <li>○ すみません。学習コーナーについては、36人を上限として1つの時間を構成をしている。ほぼ全ての講座がいっぱいというような形だった。少し英語のところだけこまを2つにふやしたので、72名までは行かなかったのだが、36名以上は十分達していたというようなところである。</li> </ul>
藤原委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 今お聞きしたら、プログラミング教育などの新しく学校の中に入っていることもあり、とても興味があったのではないと思う。私も外から少し見せてもらったら保護者も含めてすごく大勢の人が集まっておられた。教育内容の広報ができたり、子どもたちの部活動などに関して興味を持てたり、いい試みだと思うのでぜひ来年も続けてほしい。</li> </ul> <p style="text-align: center;">以上である。</p>
教育長	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 私の印象に残ったのは、たしか操南中の子どもが投票の何というのか、予算をどう使うかとか、投票をしてもらう取組をした、演説みたいにして。その結果僕は聞いてないが、クーラーがやはり一番人気があった。そういうのがあって。それから各中学校区の紹介のパネルがとてもカラフルになった。去年より随分グレードが上がっている。</li> </ul>
藤原委員 教育長	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 子どものニーズを聞くというのも、そういう機会しかない。</li> <li>○ それを中学生がやったというのがいいなと思う。実際行ったときにとっても行列で、もうびっくりした。とにかくそのことがあったから、去年は何が何だろうみたいな感じだったのがことしはととても行列ができていた。</li> </ul>
藤原委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ だんだん知られるようになったら、来年また行こうという人もあると思うので、ぜひ続けてほしい。</li> </ul>
教育長 塩田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ そのほかないか。</li> <li>○ 1番と、それから3番なのだが、本当に暑い中午前中だけで球技が終えるようにという形で対応してくださっているようだが、その他の熱中症やそういった対策があれば教えていただきたいと思う。</li> </ul>

地域子育て支援課課長補佐	○ 熱中症の対策としては、氷等いつもよりたくさん準備をするとか、日陰を準備する、それからことしは特に暑いということで発電機等たくさん準備をしていただき、各児童の待機場所に大型扇風機を配置するというようなことを7月22日に行った。
塩田委員	○ ありがとうございます。季節がかなり酷暑の時期になるので、配慮しながらまた続けていっていただきたいと思う。
藤原委員	○ 離れてもいいか。就学相談の教育相談会に関して2回されてるのだが、これは内容的に例えば知的であるとか情緒障害、いろいろなタイプがあると思うのだが、発達障害の子どもたちの就学相談はふえているか、それともそれに関しては余りこの場には見えてこないのか。
指導課教育支援担当課長	○ ここへ2回あるのだが、実は7月にも2回、30、31とやっていて、合計4日間ふれあいセンターで220人ぐらいのお子さんを対象にことしは開かれた。少し減ったのだが、これは去年までと違って新しい試みとして、ことしから就学説明会というのを1回入れた。これは保護者に対して就学の流れを手続の流れなんかを説明する会を保護者対象にするということで6月30日ともう一日どこかで開いたのだが、そこへ400人が来られた。なので、相談会には少し減ったのだが、やはり多いのは発達障害に関する相談である。知的もあるのだが、発達障害の診断を受けていると、IQで言うと幾らぐらいだと、うちの子はどちらが対象なのかとか、あるいは発達障害があるので特別支援学級の自閉症情緒を考えているのだが、ずっとそこにいないといけないのかとか、あるいは交流学級をどの程度使えるのかとか、それから多かったのがやはり進路のことに関する相談というか、そういうのが多かったというふうに聞いておる。圧倒的に知的よりは自閉症情緒のほうが子どもの数が多いので、相談会に来られる対象のお子さんもやはりそちらのほうがお子さんが多いということである。
藤原委員	○ やはり予想どおり多いのだね。例えば今のIQとか、そういう知的なおくれがなくてもというのは今多分親御さんの中には、それで学校行ってどういうふうに折り合っていけるだろうかというのは多分一番重大な関心事だと思うので、今の進路も含めて、その先の就労も出てくるのだろうけど、そういうことまで見通して説明会ではいろいろアドバイスをされている。安心した。
教育長 全委員	○ そのほかないか。いいか。 ○ 〈なし〉

## 7 議事の概要

教育長	○ ただいまから8月岡山市教育委員会定例会を開会する。 本日は、傍聴の希望者の方が1名いらっしゃる。入室してもらってよろしいか。
全委員 教育長	○ 〈承認〉 ○ それでは、入ってもらってください。 それでは、日程第1である。 会期について、本日1日限りとしてよろしいか。
全委員 教育長	○ 〈承認〉 ○ 本日1日限りとする。 日程第2、こちらに7月定例会の議事録があるので、順次ごらんいただき問題がなければ署名をお願いします。
教育長	○ 日程第3、事業報告を見ていただき何か質問はないか。 (会議録6「教育長等の報告」に記載) ○ それでは次に、議事に入る前に会議の公開非公開についてお諮りする。 日程第4の報告第18号は教育事務に関する議会の議案等についての市

<p>全委員 教育長</p> <p>教育企画総務課企画調整担当課長</p>	<p>長への意見の申し出に関する事項として会議規則第7条第1項第3号に該当するため、また日程第5の第23号議案は会議を公開することにより教育行政の公正かつ円滑な運営に著しい支障が生ずるおそれがある事項として会議規則第7条第1項第6号に該当するため非公開としたいと思うが、委員の皆さんはいかがか。</p> <p>○ 〈承認〉</p> <p>○ ありがとうございます。</p> <p>それでは、日程第4の報告第18号及び日程第5の第23号議案は非公開と決定する。</p> <p>それでは、公開となっている議案について進めていきたいと思う。</p> <p>日程第5、第22号議案、教育企画総務課から説明をお願いします。</p> <p>○ 第22号議案平成29年度岡山市教育委員会の事務に関する点検・評価報告書についてご説明する。</p> <p>本議案は地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定に基づき平成29年度岡山市教育委員会の事務に関する点検・評価報告書を別紙のとおり議会へ提出するとともに、これを公表しようとするためのものである。</p> <p>定例会資料平成29年度岡山市教育委員会の事務に関する点検・評価報告書の1ページ目をお開きください。</p> <p>ここには岡山市が目指す教育について中学校区を単位とした学校園一貫教育（岡山型一貫教育）と岡山市地域協働学校を2つの柱として縦のつながりと横のつながりで織りなす教育により子どもたちが自立に向かう力を育てていることを示している。</p> <p>2ページ目をごらんください。</p> <p>本点検・評価は教育行政の組織的、継続的な改善、市民への説明責任といった目的から法に基づいて実施しており、今回対象となるのは5年間の計画である第2期岡山市教育振興基本計画の1年目に当たる平成29年度アクションプランに掲載しました事務事業である。</p> <p>3ページ目をごらんください。</p> <p>ここから6ページまでは、教育委員会会議の開催状況とその他の活動状況について記載している。</p> <p>次に、7ページと8ページのところをごらんください。</p> <p>教育振興基本計画の概要とアクションプランに掲載していた平成29年度の施策、事業、事業会計を掲載している。</p> <p>次に、9ページと10ページをごらんください。</p> <p>平成29年度に特に重点的に取り組んだ事業を紹介している。6つのテーマごとに評価して、成果などを記述している。</p> <p>次に、11ページをごらんください。</p> <p>ここから23ページまでは、それぞれの政策ごとに自己評価を行った部分である。</p> <p>ここでは第2期岡山市教育振興基本計画に掲げた評価指標に基づいた政策の評価を行っているが、各事業の指標の実績値の変化や岡山市の教育に関する総合調査や全国学力・学習状況調査などの結果を参考データとして、より客観的な評価ができるように努めている。</p> <p>成果と課題の欄には、政策の目指す姿に対して施策を行ったことで得られた成果と課題を記述している。</p> <p>それでは、25ページから27ページをごらんください。</p> <p>ここは地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条には点検・評価を行うに当たって学識経験者の知見を活用することが義務づけられており、教育委員会による自己評価部分について3名の外部評価委員の方に評価をしていただいた部分である。</p>
---	---

本年度の外部評価委員は岡山大学大学院教育学部研究科教授の熊谷愼之輔氏、株式会社フジワラテクノアート代表取締役社長の藤原恵子氏、そして中国学園大学・中国短期大学副学長の住野好久氏にお願いをしている。

また、7月10日には教育委員会会議に外部評価委員をお招きして教育委員会と意見交換を行うことによって本市の教育行政の改善すべきポイントを明確にし今後の教育行政に生かすことを目的とした外部評価委員意見交換会を開催した。

それでは、27ページをごらんください。

この意見交換会の概要をここに掲載している。評価書に加えて、多くのご意見をいただいている。

続いて、28ページから29ページになるが、ここには自己評価、外部評価を踏まえて教育行政及び点検・評価システムについて改善のポイントを明確にし今後とるべき方向性について記載している。

まず、アの本市の教育行政についてである。

学力の向上については、家庭学習の充実を図ることや英語力の向上を目指して平成30年度には民間検定を活用する取組を全中学校に拡充して実施していることを記述している。

問題行動等の防止及び解決については、平成30年度から小学校へ教育支援アドバイザーを配置していることや重大事態発生時には問題行動等対策委員会を中心として関係機関等と連携して取り組んでいくことを記述している。

運動習慣の定着化への取組としては、平成30年度から推進モデル校による取組の実践及びその成果を市内の各学校へ普及し、運動活動の充実を図っていくことを記述している。

次に、教職員の資質能力の向上と支援体制の充実に向けた取組として、平成29年度に作成した教員等の育成指標を平成30年度から教職員研修に活用していることや採用前の資質能力の向上として大学との連携を一層強化していくことを記述している。さらに、教職員のワーク・ライフ・バランスの向上に向けて現場の教職員の意見を聞きながら教職員の業務改善に向けた支援の充実を図っていくことを記述している。

協働体制の確立に向けた取組として、岡山市地域協働学校については運営協議会や連絡会でを行うワークショップを活用し理念が多くの人に浸透するよう支援していくこと、また地域が主体となる地域学校協働活動を推進する取組を平成30年度から新たに始めており、子どもたちのかかわり合いや学び合いを支援していくことを記述している。

次に、イの本市の点検・評価システムの改善についてである。

他局と連携した取組の評価については、オール岡山市として連携して取り組んでいる事業についても、その評価を本報告書に掲載するよう改善していくことを記述している。

評価指標の改善については、各政策の評価を政策の評価指標だけでなく、各事業の指標の実績値の変化に注目して成果と課題をまとめるようにしたが、まだ施策、事業の成果と政策の評価のつながりがわかりにくいいため、わかりやすい形になるように工夫していくことを記述している。

以上で平成29年度岡山市教育委員会の事務に関する点検・評価報告書についての説明を終わる。ご審議のほどよろしく願います。

○ ありがとうございます。

それでは、もう何かからでもよろしいか。最後にまとめている最後のところをお話しいただいたと思うが、何かご質問等あったらお聞きする。

○ 確認なのだが、これの方向というか、報告、事務の範囲か、そちらを教えてくださいただけたらと思う。基本的にどこに報告して、これをどういった方たちが見ておられるかということなのだが。

教育長

塩田委員

教育企画総務課企画調整担当課長	○ これは議会に出して、同時にホームページのほうにも発表している。したがって、全市民に公開という形にはなっている。
塩田委員	○ 例えばこれをごらんになって、そこから意見をいただいたりということなどは過去も含めてあったのか。
教育企画総務課企画調整担当課長	○ 今までは外部から公開後に質問、意見等いただいたことはない。
塩田委員	○ ありがとうございます。
藤原委員	○ 28ページ目のアの1つ目の丸、学力向上と問題行動等の防止及びというところの等という言葉がとても重い意味だなと思いながら読んでいる。表面に出てくる問題行動だけがイメージされるのではないか。いじめている子、いじめられている子それぞれにやはりもちろん人権はあるのだが、例えば発達障害などが根底にあることも多い。表現の仕方として、8ページの施策・事業体系図、政策4の施策の一人一人を大切にしたい集団づくりの推進のところに、発達障害のフレーズも入れてほしいと以前もお願いしている。今年度は間に合わないかもしれないのだが、この8ページの政策の4のようところに少しその施策として人権が前面に出るようにしてほしい。最後に28ページにある学力向上と問題行動等の防止のところでは問題行動等の防止の背景にあるのはやはり一人一人の人権を大事にすることというふうな一文があってほしいなと思った。この多分もうその視点ではやっていることだとは思っているのだが、言葉としてそれが妥当かどうかまた検討くださったらと思う。きょうはもう担当課の方はおられないようなので。
教育企画総務課企画調整担当課長	○ ありがとうございます。この春のときに、定例会で平成30年度のアクションプランをご検討いただいたときに、藤原委員のほうからこのようなアドバイスをいただいたのを覚えておいて、今年度のアクションプランにこの体系図でアドバイスをいただいた特別支援の視点のところはアクションプランには入れさせていただいている。この点検・評価について平成29年度のアクションプランの点検・評価ということになっているので、8ページのところには今から加えることは少し不可能かなと考えておるが、28ページのアのところについて検討させていただく。 ただ、この問題行動等という表現は、教育大綱の言葉をそのまま使わせていただいている言葉である。もちろん問題行動等の中には、不登校という課題のことも含めた等という言葉になっている。このあたりも考えて、これは資料課のほうと少し検討を加えさせていただけたらというふうにご検討おる。
藤原委員	○ そうだと思う。29年度の点検・評価、ただこの28ページの文章の中には問題行動等は全てやはり一人一人の子どもを大事にするところの施策だと思うので、そういう一般的なことは入れてもいいのかなと思ったので、少しお尋ねした。
教育企画総務課企画調整担当課長	○ ありがとうございます。今おっしゃっていただいたような視点で検討させていただきます。
教育長	○ よろしく願います。
学校教育部長	○ 担当課長少し席外したので、特別支援の視点でもう少し事業等見れないかというふうなご意見以前からもいただいておいて、確かに項目としては目立たない形になっている。それは大きなパッケージの中に入っているのだろうというふうに私自身は理解しておるのだが、ちょうど今年31年度の事業に向けてそれぞれ検討している段階なので、ネーミングも含めて見せ方を研究していかないといけないなという気はする。
藤原委員	○ 例えば発達障害とか、障害だけでなく今後LGBTなどいろいろな課題が学校へもおりてきている。そういうものが彷彿できるように教育委員会としてその一人一人の人権を大事にした結果、障害がある子や、問題行動等の傾向がある子たちのこともすくい上げていくよというのが言葉としてどこかに出れば安心かなという気がする。

<p>教育長 全委員 教育長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ そのほかないか。</li> <li>○ 〈なし〉</li> <li>○ 施策は本当に多岐にわたっていて、そしてこれが上位か下位かわからないが、教育大綱のようなものとか全体のまちづくりプランとか、そういうこととも整合をとっていかないといけないので、本当にいろいろと考えていかないといけないということがあって、本当はもっとシンプルに思ったりもするのだが。</li> </ul>
<p>藤原委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 今年度初めて29ページに他局と連携した取組という一文がある。他局の評価をすることはもちろんできないが、こういうふうに書いていると横に縦につながって活動ができるというのがわかるのでよい。</li> </ul>
<p>塩田委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ それと同時に、評価基準の改善というのはずっとこれ始めてから課題にはなってきたと思うのだが、もし何か新たにこういったことを改善の指標にしたいというのがあったら教えていただけたらと思う。具体的には、どういふふうにというところからでもいいのだが。</li> </ul>
<p>教育企画総務課企画調整担当課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 実際見まして、今まだ具体的にアイデアが浮かんでいない状態である。今、次に向けて考えている状況である。</li> </ul>
<p>塩田委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 今回の外部評価の方たちのご意見を見ていると、そういうことにも切り込んだ話もあるのかなというふうに思ったので、そういったところから取り組んでもよいのかなと思った。</li> </ul>
<p>教育長 全委員 教育長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ それでは、この22号議案は原案どおり可決してよろしいか。</li> <li>○ 〈承認〉</li> <li>○ ありがとうございます。</li> </ul> <p>それでは、以上で公開議案の審議は全て終了した。</p>
<p>-----[非公開部分 省略]-----</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ これで8月岡山市教育委員会定例会を閉会する。</li> </ul>	

<p>傍聴の状況</p>		
<p>報 一</p>	<p>道 般</p>	<p>0名 1名</p>

平成30年8月 岡山市教育委員会定例会（非公開） 会議録

1 開催日	平成30年8月21日（火）		
2 開会及び閉会	開会	13時30分	
	閉会	13時50分	
3 出席委員	教育長	菅野和良	
	委員	塩田澄子	
	委員	藤原佳代子	
	委員	妹尾直人	
4 会議出席者			
職名	氏名	職名	氏名
教育次長	安田充年	教育次長	三宅泰司
次長（教育総務部長兼務）	吉實達男	生涯学習部長	重松浩二郎
参事 （教育企画総務課長事務取扱）	村田守	学校施設課長	板野正博
教職員課長	奥橋健介	教育企画総務課課長補佐	澤谷好太郎
事務局 （教育企画総務課課長補佐）	生田裕宣	事務局 （教育企画総務課副主査）	三宅敦子
5 議題及び結果			
報告第18号	専決処理の報告（市議会の議決を経るべき議案の原案への同意について）	承認	
第23号議案	平成31年度岡山市立岡山後楽館高等学校入学者選抜実施要綱の一部改正について	可決	